

平成29年の犯罪抑止目標について

1 抑止目標

- 目指すもの ～ 安全・安心な滋賀の実現
 スローガン ～ 滋賀県は絶対に犯罪を許しません！
 犯罪抑止目標 ～ 「さらなる減少を目指して」 ～ みんなで取り組もう！アンダー9,000件 ～

◆◆◆ 設定理由 ◆◆◆

(1) 滋賀県基本構想の目標指標達成のため

滋賀県基本構想における犯罪抑止に関する目標とする指標は、平成30年において「犯罪率（人口1万人あたりの刑法犯認知件数）を全国平均以下」としており、平成29年の全国平均犯罪率（推計）を滋賀県の人口に当てはめると認知件数は約9,950件となり、基本構想の目標を達成するには、この数値を下回る目標が必要となる。

(2) 同規模県の犯罪率よりも高いため

人口同規模県と比較すると、滋賀県の人口は全国26位であるのに対し、犯罪率は全国でワースト15位であることから、本県では犯罪総量の抑制についても継続的な対策が必要である。

(3) 県民にわかりやすいものとするため

平成28年中の刑法犯認知件数は、昭和36年以降最少の9,574件（暫定値）となったが、今後も県民総ぐるみとなって、安全で安心して暮らせる滋賀を実現するための1つの努力目標として、県民にわかりやすくするため。

以上を勘案し、平成29年の犯罪抑止目標については、平成28年中の刑法犯認知件数と、基本構想の指標である「犯罪率全国平均以下」の達成も見据え、県民が分かりやすく目指しやすい「9,000件以下」とし、犯罪抑止目標は「さらなる減少を目指して～みんなに取り組もう！アンダー9,000件～」とする。

2 重点犯罪の指定

項目	設定理由
特殊詐欺	様々な世代による被害が後を絶たないため ～ 被害総額は減少しているものの、被害件数はオレオレ詐欺や架空請求詐欺を中心に増加傾向にあり、また、あらゆる世代が被害に遭われていることから、最重点課題として被害防止対策が必要。 ＊ 総数 141件（前年比+27件）、被害額 約246百万円（同△195百万円） うち オレオレ詐欺 24件（同+16件）、架空請求詐欺 88件（同+17件） ＊ 高齢者（65歳以上）の割合 件数 約40%、被害額 約65%
子ども・女性対象犯罪	世論の関心が高く、体感治安に直ちに影響するため ～ 体感治安に直ちに大きな影響を与える犯罪であり、発生抑止対策が必要。また、平成29年1月1日に「滋賀県迷惑行為等防止条例」が改正施行したことから、周知・啓発活動の強化による被害防止対策が必要。 ＊ 性犯罪（強姦、強制わいせつ、痴漢等） 282件（前年比△10件） 声かけ・つきまとい事案 502件（同△49件）
住宅侵入盗 （空き巣、忍込み、居空き）	体感治安に著しく影響するため ～ 前年よりも減少傾向にあるものの、強盗等の凶悪事件に発生する恐れが高く、県民の体感治安に大きな影響を与える犯罪 ＊ 件数 357件（前年比△92件）
自転車盗	犯罪総量を押し上げる1番目の要因であるため ～ 「ロックでガード大作戦」により対策が定着されつつあるが、平成28年中の全刑法犯に占める割合は約2割で、また、依然として無施錠率は高いことから、利用者へのさらなる対策とともに、駐輪場等の管理者対策が必要 ＊ 件数 1,998件（前年比△509件）、無施錠率 69.4%
万引き	窃盗犯罪の中で2番目に多い犯罪であるため ～ 全刑法犯の約1割を占め、店舗管理者対策等の推進とともに、若年層のみならず高齢者対策が必要 ＊ 件数 1,163件（前年比△41件）、20歳未満 16.1% < 70歳以上 26.7%